



みんなのポール

~誰もが棒高跳に思う存分に挑戦できる未来へ~

NPO法人ボウタカ

棒高跳の課題

「ポール」が選手の成長を左右する



生涯で使用するポールの数は

約**20**本

使用するポールは変化

競技力の向上に伴い、使用するポールは変化します。

常に必要なポールの数は

約**7**本

複数のポールを使用

試合用、練習用で異なるポールを使用します。

1本あたりの販売価格は

約**10**万円

ポールはとても高価

国内で流通するポールの販売価格は1本につき7万円～15万円。



地域格差の助長

適切なサイズのポールが、競技力向上には不可欠なため、ポールの備えがある、資金力のある学校の選手が、往々にして高い競技力。



競技を引退する原因

競技環境が整備されていない学校に進学すると、やむを得ず引退。進学の際は、競技環境の有無を前提とするため、選択肢が少ない。



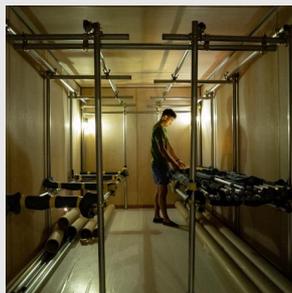
眠るポール

選手の特性によって、使用するポールも大きく異なるため、全国には使用されずに倉庫に眠っているポールも多く存在する。

NPO法人ボウタカの事業について

スポーツ用品の管理・運営に関する業務

2022年10月よりシェアポール事業「みんなのポール」を開始
多くの競技者が、安全かつ自信を持ってスポーツ活動に参加できる環境を整える



適切なポールを日本中のボウルターに届けることで、
誰もが棒高跳に思う存分に挑戦できる未来の実現
棒高跳を通じた「成長」の機会を全てのボウルターへ

NPO法人ボウタカの事業について

スポーツ用品の管理・運営に関する業務

2022年10月より開始したシェアポール事業「みんなのポール」の実績より、いくつかの注目すべき内容をピックアップします。(2023年10月現在)



2023年6月の使用実績は

42/42本

が稼働中

今後、さらに運用する本数を増やすことを目指しています。

事業開始より1年で

計39人

が使用

女子選手やジュニア選手を中心に多くの老合わせがある。

事業開始より1年で

累計80本

のポールを提供

約900万円相当のリユースを実現

■ 競技に関する実績

- ① 全日本実業団選手権 優勝(女子)
- ② マスターズ日本記録更新(男子・M60)
- ③ 九州学生陸上競技選手権 優勝(女子)
- ④ 東海地区高校新人大会 優勝(女子)
- ⑤ 北日本陸上選手権大会 優勝 大会記録(女子)

■ 使用者の声

“ポールのレンタル事業はとても素晴らしい取り組みであると感じています。行動に移してくださったこと誠に感謝いたします。”

“いつもと違う種類のポールを使うことで、反発の感じ方の違いを体験できたので、ぜひみんなのポールを使ってみて欲しいです！”

NPO法人ボウタカが目指す未来 2030年までにシェア用ポールを300本調達する



シェアポールが当たり前
の未来を作る！
日本に複数のポールシェア
のための拠点を設置する。

誰もが棒高跳に思う存分に挑戦できる未来の実現
棒高跳を通じた「成長」の機会を全てのボウルトアーへ